

進路だより

令和4年4月28日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

< 校長挨拶 >

今年度より、釜石祥雲支援学校でお世話になることになりました。外館と申します。児童生徒にとっての学びや生活がより充実したものになっていくよう、進路支援を含め、職員一同、保護者の皆様と手を取り合いながら、進んでまいりたいと考えております。

新年度を迎えてから、早いもので1か月が経過しようとしています。

4月7日（木）、翌8日（金）の入学式も無事に終わり、翌週には、この時期には珍しい夏日となる日もあり、児童生徒の新年度のスタートを応援するかのよう、桜も一気に開花しました。児童生徒も暖かな日差しの下、目標をもって新たな学年、環境の中での学びに取り組んでおり、元気に挨拶をする姿、前向きに学習に取り組む姿からは、「1年後は、どんな成長をした姿を見せてくれているのだろう」という期待感を感じるところです。

さて、年度始めの「進路だより」ということで、改めて、進路、そして将来、生涯に渡っての生活を考える上で、大切にしたいことを考えたいと思います。

右下にまとめた項目は、以前、職業センターの方の講義で伺った「進路支援の上で大切にしたい内容」をまとめたものです。様々な項目がありますが、「生活習慣の確立」、「挨拶、返事」、「日常生活能力（手伝いなど、日常場面での役割）」、「社会生活能力（交通機関、金銭利用等）」等、日常生活の中で大切にしたい習慣や経験を積み重ねていくことが、将来の生活においても土台となり、大切にされるべきということかと思えます。

小学部や中学部のうちは、「進路」という言葉からイメージがもちにくい面もありますが、日常生活の中で大切にしたいことを、積み重ねていった何年後、将来の姿と、集団や社会の中での自分の楽しみ、良さ、得意を生かした役割というイメージで考えると、少しだけイメージがしやすくなるかもしれません。

今、学んでいることが、今の生活を充実させ、その積み重ねが、将来の生活の充実、希望進路の実現につながるという思いを、保護者の皆様とひとつにしながら、歩んでいきたいと思えます。今年度、どうぞよろしくお願いいたします。



岩手県立釜石祥雲支援学校
校長 外館 悌

○生活習慣の確立	☆できることは自分で行う ☆規則正しい生活リズム ☆清潔な身なり、身だしなみ
○挨拶、返事	☆家庭で、学校で (できていることはフィードバック)
○日常生活能力	☆日常生活場面の中での役割を持つ
○社会生活能力	☆交通機関、金銭利用など、生活経験を広げる
○自己課題の認識	☆自分自身のことをよく理解しておく(得意・不得意、職場に協力をしてほしいこと) ☆「興味あること」と「得意なこと」の違い
○働くことの意味づけ	☆役割を果たすことが周囲にもたらすこと ☆手伝いと報酬
○その他、職業に関する情報の取得	☆職種の適切な選択 ☆ステップを踏んでいくことへの理解



卒業生の様子

この春、12名の方々が高等部を卒業し、社会人の仲間入りをしました。この場をお借りして現在の様子を一部ですがご紹介したいと思います。(全員載せられなくてすみません。)



寿司セット作り (マイヤ野田店)



シュリンク作業
(かまいしワーク・ステーション)



シーラーがけ
(夢工房・カトレア)



ボックス掃除
(つくし共同作業所)



工場前で
(S M C)



余暇活動
(四季の郷)



木工
(わらび学園)



データ整理
(エノモト)



空缶選別
(ワークフォローおおつち)

お知らせ

先日お配りした進路希望調査①(対象：小学部2年生～高等部3年生)の提出が**5月6日(金)**までです。提出がまだの方はよろしくお願いします。



進路担当職員の紹介

今年度の進路担当職員です。進路に関してご不明な点などがありましたら、各学部の担当職員までご相談ください。よろしくお願いします。



斎藤道幸 (高等部)



菅野崇子 (高学部)



梅田良隆 (中学部)



刈屋知子 (小学部)

